



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)仲治 文雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)西川 康一 (TEL) 076(277)7530
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	338	4.4	3	—	1	—	2	—
27年3月期第3四半期	324	9.3	△3	—	△6	—	△6	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △18百万円(—%) 27年3月期第3四半期 2百万円(△85.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.20	—
27年3月期第3四半期	△0.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,277	444	34.8
27年3月期	1,335	462	34.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 444百万円 27年3月期 462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460	4.6	20	—	15	—	15	—	1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	12,911,000株	27年3月期	12,911,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	558,900株	27年3月期	558,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	12,352,429株	27年3月期3Q	12,353,238株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に新興国経済の減速や緊迫する中東情勢、北朝鮮の核問題などの影響を受け、前半は輸出及び国内生産が上向きつつあったものが、後半は停滞感が出てきております。また、日本経済は原油価格が低水準で推移している要因から、景気回復基調にあります。ここに来て暖冬の影響もあり個人消費は思ったほど伸びていない状況であります。

繊維景況は、衣料関係については国内向けが全般的に低調でありましたが、中東向けテキスタイル輸出は好調でありました。ユニフォーム、ワーキング分野は備蓄が増え低調になり、保温肌着関係は厚手が主流になりアクリル素材が増加しました。インテリア業界は住宅着工件数が増加し、カーテン、カーペット関係は増加しました。産業資材用途では、エアバック用が減速し、タイヤコード用も織物の輸出が増加して苦戦しました。また、カーシート用も自動車生産が前年比減となったことや合成皮革へのシフトにより、苦戦しました。

当社の産業資材分野では、主力商品でありますアラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強力繊維ともに、受注自体は土木関連資材及び自動車関連資材など比較的堅調に推移しており、アラミド繊維全体の売上高は前年同四半期に比べ4,108千円増加し、175,785千円となりました。また、一般衣料紡績糸は高機能インナー用途向けが生産調整を行った為、14,118千円減少しましたが、民間ユニフォーム向け原着糸の受注が増加したこと、新規販売先も増えたことにより減少分を補うことができ、売上高は前年同四半期に比べ10,325千円増加し、163,193千円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、売上高は前年同四半期に比べ14,433千円増加し、338,978千円となりました。営業利益は3,605千円（前年同四半期は3,359千円の営業損失）、経常利益は1,177千円（前年同四半期は6,265千円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,518千円（前年同四半期は6,046千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、紡績機械設備等の投資により有形固定資産が11,117千円増加した一方で、現金及び預金の減少42,011千円、保有株式の時価下落による投資有価証券の減少30,466千円等により、前連結会計年度末に比べ58,243千円(4.4%)減少し、1,277,149千円となりました。

負債は、未払消費税等の減少等により流動負債その他の減少15,760千円、短期借入金の減少8,000千円、投資有価証券の時価下落による繰延税金負債の減少11,691千円等により、前連結会計年度末に比べ39,995千円(4.6%)減少し、832,617千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少20,717千円等により、前連結会計年度末に比べ18,247千円(3.9%)減少し、444,532千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想については、平成27年11月6日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,814	37,802
受取手形及び売掛金	51,765	33,490
製品	2,713	10,921
仕掛品	6,568	7,003
原材料及び貯蔵品	3,052	14,586
その他	8,411	9,506
流動資産合計	152,325	113,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	0	644
機械装置及び運搬具(純額)	0	9,741
土地	805,484	805,484
リース資産(純額)	0	0
その他(純額)	0	731
有形固定資産合計	805,484	816,601
無形固定資産		
リース資産	0	0
ソフトウェア	0	266
施設利用権	50	50
無形固定資産合計	50	316
投資その他の資産		
投資有価証券	366,714	336,247
その他	10,818	10,672
投資その他の資産合計	377,532	346,919
固定資産合計	1,183,067	1,163,837
資産合計	1,335,393	1,277,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,354	17,696
短期借入金	511,000	503,000
リース債務	1,659	1,659
未払法人税等	1,283	1,432
賞与引当金	5,624	3,335
その他	50,923	35,163
流動負債合計	588,845	562,287
固定負債		
リース債務	6,144	4,900
繰延税金負債	58,510	46,819
再評価に係る繰延税金負債	212,801	212,801
退職給付に係る負債	6,310	5,809
固定負債合計	283,767	270,329
負債合計	872,612	832,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	△685,980	△683,462
自己株式	△57,419	△57,468
株主資本合計	△28,143	△25,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,586	36,869
土地再評価差額金	433,336	433,336
その他の包括利益累計額合計	490,923	470,206
純資産合計	462,780	444,532
負債純資産合計	1,335,393	1,277,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	324,545	338,978
売上原価	258,444	256,572
売上総利益	66,101	82,405
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	5,154	5,286
役員報酬	7,755	11,350
給料及び手当	24,491	25,584
賞与引当金繰入額	221	512
その他	31,839	36,066
販売費及び一般管理費合計	69,461	78,800
営業利益又は営業損失(△)	△3,359	3,605
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	5,317	5,080
不動産賃貸料	4,397	5,002
その他	1,357	1,958
営業外収益合計	11,084	12,054
営業外費用		
支払利息	12,065	11,848
支払補償費	404	589
その他	1,520	2,043
営業外費用合計	13,990	14,481
経常利益又は経常損失(△)	△6,265	1,177
特別損失		
固定資産売却損	838	—
その他	4	—
特別損失合計	842	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△7,108	1,177
法人税、住民税及び事業税	1,062	601
法人税等調整額	△2,124	△1,942
法人税等合計	△1,061	△1,340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,046	2,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,046	2,518

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,046	2,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,882	△20,717
その他の包括利益合計	8,882	△20,717
四半期包括利益	2,835	△18,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,835	△18,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、製造コスト・販売費及び一般管理費のさらなる削減及び生産工程の効率化に取り組みながら、受注量の確保を喫緊の課題として取り組んでおります。具体的には、現存の基幹商品であります高機能糸（産業資材・インナー）の生産を確保しつつ、取引先との技術提携をより強固にしながら、さらに高機能繊維の高付加価値化を図り、既存の防護衣料分野での用途拡大に加え、新規用途開発に取り組めます。また、既存のポリエステル関係糸の高付加価値商品の開発を進め、新規取引先の開拓に取り組めます。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、繊維事業及び環境事業であります。環境事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報として重要性が乏しいため、記載を省略しております。